

フジタ奨学金制度（給付型）募集要項 （2021年度）

■ 奨学金内容

	学部生コース	大学院生コース
募集対象	学部3年生	大学院(修士課程)1年生
給付期間	2年間(3年次～4年次)	2年間(1年次から2年次)
募集人数	1名	
給付金額	500,000円/年	
給付方法	半期毎に250,000円を指定口座に振り込み(7月末頃と10月末頃)	

■ 応募資格

- ① 学部生コース 2021年4月に3年生へ進級された方
大学院生コース 2021年4月に大学院(修士課程)へ進学された方
 - ② 将来、まちづくりやインフラ整備など建設業を通じて社会貢献をしたい方
 - ③ 成績優秀、品行方正な方で健康な方
 - ④ 弊社が開催する各行事(認定証授与式、技術センター見学会、現場見学会等のイベント)へ参加できる方
(原則全員参加とし、正当な欠席理由がある場合は要相談)
 - ⑤ 経済的な理由で就学が困難な状況にある方(原則、家計支持者の年収が税込800万円未満の方)
 - ⑥ 日本国籍を有する方
- ※奨学金併給は原則不可(ただし、日本学生支援機構ならびに大学独自の奨学金は可)
※2022年度2月末に「学生生活状況報告書」の提出が必要

■ 募集学部・学科

・全学部・全学科 / 建築系・土木系・機械系・電気電子系・情報系・都市計画系

■ 募集方法・人数

・学校推薦方式 / 採用予定人数1名
応募にあたっては、事前に学内奨学金担当窓口にご相談・ご確認をお願いいたします。

■ 提出書類

- ① 奨学生応募用紙 (所定履歴書使用)
- ② 学校からの推薦書
- ③ 成績証明書 (学部生は2年生の後期まで・大学院生は4年生後期まで)
- ④ 健康診断書 (2021年1月以降に受診した結果票/学校で実施された健診結果も可)
※コロナの影響で受診不可の場合は別途ご相談ください。
- ⑤ 収入証明書 (家計維持者の所得証明書<役所発行のもの>)
- ⑥ レポート (それぞれコースごとの課題を所定の書式で提出/1,000～1,200文字)
【学部生コース】「これから大学で何を学び、将来それをどのように建設業で活かしたいか」
【大学院生コース】「大学院での研究テーマと、将来それをどのように建設業で活かしたいか」
※ 応募資格にある「将来、まちづくりやインフラ整備など建設業を通じて社会貢献をしたい方」に即してご記述下さい。

■ 選考方法

- ① 書類審査
- ② 面接 ※ ①書類審査の合格者が対象となります。

■ 募集期間(書類受付期間)

2021年4月1日(木)～2021年5月17日(月)

■ フジタ担当者・問い合わせ先

〒151-8570 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2 修養団SYDビル
株式会社フジタ 管理本部人事部 奨学金担当 富澤・中山
E-mail fujita-jinji@fujita.co.jp TEL 03-3796-2214

■ 2021年度の予定 ～ 状況により変更となる場合があります ～

- | | | |
|-----------------|------------------|----------------------|
| ① 募集・書類審査 | 4月1日(木)～5月17日(月) | ※5月下旬可否決定(通知) |
| ② 面接 | 6月5日(土)、6月12日(土) | ※面接は1回、両日のどちらかになります。 |
| ③ 合格通知 | 6月21日頃 | ※学校を通じて通知いたします。 |
| ④ 認定証授与式・説明会 | 7月3日(土) | ※東京新宿周辺のホテルにて開催 |
| ⑤ フジタ技術センター見学会 | 11月頃 | ※神奈川県厚木市にて開催 |
| ⑥ 「学生生活状況報告書」提出 | 2022年2月末頃 | |
| ⑦ 研究活動結果報告会 | 2023年2月中旬～下旬 | |

履歴書

西暦 年 月 日現在

写真を貼る位置

1. 縦 36~40 mm
横 24~30 mm
2. 本人単身胸から上
3. 裏面にのりづけ
4. 裏面に氏名記入

ふりがな	㊟	性別
氏名		

生年月日	西暦 年 月 日生 (満 歳)
------	-----------------

ふりがな	携帯電話
現住所 〒	
E-mail : (一番良く利用するアドレス)	電話 (現住所)
ふりがな	電話 (家族)
家族の連絡先 住所 〒	

年 (西暦)	月	学歴 (高校入学より記入し、学部・学科・専攻まで記入)

部 活・サークル ボランティア活動 など課外活動	
--------------------------------	--

趣味・特技・保有資格・免許等	自己PR

フジタの奨学金を申請する理由

■ 家族の状況

- ① 同居、別居を問わず、申込者本人と同一生計の方は全員記入してください。
- ② 役所発行の収入証明書を元に金額を記入してください。

続柄	氏名	年齢	職業・学年	給与収入 (単位：円)

※自筆にて、黒インク・楷書・算用数字で記入すること。

株式会社フジタ 奨学金

年 月 日

学校名 :

氏 名 : 印

推 薦 状

下記の学生について、フジタ奨学金における奨学生として適当と認められるため、ここに推薦申し上げます。

記

学部・学科名 :

氏 名 :

推薦理由 :

以 上

株式会社フジタ
代表取締役社長 奥村 洋治 殿

※「推薦状」は、他の様式をご使用いただいても結構です。

株式会社フジタ 奨学金

テーマ : 「これから大学で何を学び、将来それをどのように建設業で活かしたいか」
(1,000文字～1,200文字 / 入力後、A4サイズにてご提出下さい)

学校名 :

氏名 :

株式会社フジタ 奨学金

テーマ：「大学院での研究テーマと、将来それをどのように建設業に活かしたいか」
(1,000文字～1,200文字 / 入力後、A4サイズにてご提出下さい)

学校名：

氏名：

家 庭 調 査 書

申 請 者	所 属	学群 _____ 学類 _____ 年次 _____										
	学籍番号	_____			性別	男・女	現住所	〒 _____ TEL (_____)				
	フリガナ	_____										
	氏 名	_____					家族住所	〒 _____ TEL (_____)				
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏 名	年齢	職 業	在職 期間	勤 務 先 名 称	給与所得の収入 金額 (税込)	給与所得以外の 所得金額			
		父				年		万円	万円			
	母					年		万円	万円			
	父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)											
	主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)											
						年		万円	万円			
						年		万円	万円			
						年		万円	万円			
						年		万円	万円			
	別 居 者 に ○ 印	就 学 者	続柄	氏 名	年齢	学 校 名	設置者別	学校種別	通学別	控 除 額		
本人					筑波大学	国立		※自 宅 自 宅外	万円			
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅外	万円			
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅外	万円			
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅外	万円			
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無									
	障害者がいる世帯		※有・無	続柄 ()	氏名 ()	手帳番号 ()	万円					
	その他											
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額 (千円)				認 定					
	アルバイト		月額 (千円) 内容 (_____)				総収入金額	① 万円				
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 (_____)				必要経費	② 万円				
		申請中	月額 (千円) 団体名 (_____)				特別控除額	③ 万円				
	その他の収入		月額 (千円) 内容 (_____)				総所得金額	④=①-②-③ 万円				
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数 人		
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤ 万円		
	修得単位数または科目数								家計充足率	⑥=④÷⑤×100		

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
(父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
(父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあっては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあっては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。